

令和6年度 大阪市立新生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	85	48	44	7.8	17.7
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	82	57.9	45.9	41.7	44.4	54.9	7.7	6.7	19.8	6.7	7.6
	大阪市	—										
	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9

※ 3年生の理科はC問題を選択

令和6年度 大阪市立新生野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

〈国語〉

本校の平均正答率は48％となっており、大阪府の平均より9％、全国の平均より10.1％低い結果となった。また無回答率は、7.8％で大阪府の平均より3.7％、全国の平均より3.9％高い結果となった。特に記述式の問題での平均無回答率は、23.5％で大阪府の平均より10.5％、全国平均より12.4％高い結果となっており、記述式の問題への苦手意識が高い傾向にあると考えられる。

〈数学〉

本校の平均正答率は44％となっており、大阪府の平均より7％、全国の平均より8.5％低い結果となった。また無回答率は、17.7％で大阪府の平均より5.2％、全国の平均より6.4％高い結果となった。短答式の平均正答率は63.2％で大阪府の平均より2.9％低い。記述式の平均正答率は、16.7％で大阪府の平均より11.5％低い結果となっており、特に記述式の問題への苦手意識が高い傾向にあると考えられる。

【今後に向けて】

〈国語〉

記述式の問題の無回答率を下げるために、普段の授業内で要約をする機会を増やしたり、ICTを活用して情報を調べそれらをまとめて発表する機会を設けるなど文章を作る活動を増やしていく必要がある。

〈数学〉

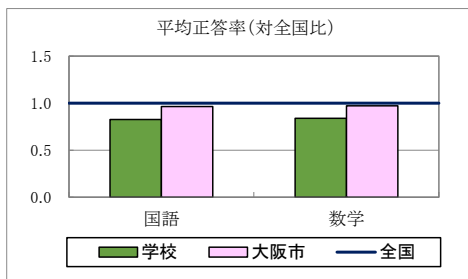
記述式の問題の正答率を上げ、無回答率を下げるために、今後記述の問題をより多く解き、丁寧に解説し定着させていく必要がある。また、書くことをあきらめず、にまずは何かを書くように促していく必要がある。

令和6年度 大阪市立新生野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

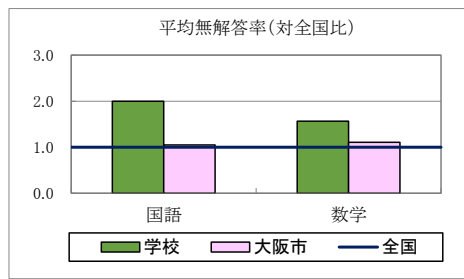
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	48	44
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

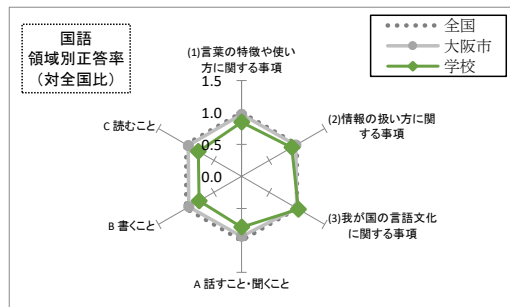
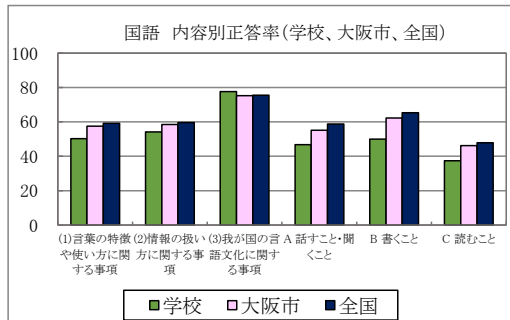


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	7.8	17.7
大阪市	4.1	12.5
全国	3.9	11.3



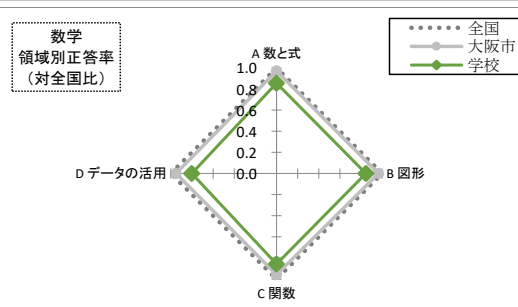
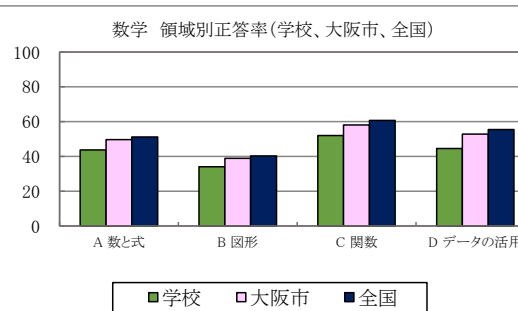
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	3	50.2	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	54.1	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化 に関する事項	1	77.6	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	46.7	55.2	58.8
B 書くこと	2	50.0	62.2	65.3
C 読むこと	4	37.4	46.2	47.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	43.7	49.6	51.1
B 図形	3	34.1	38.9	40.3
C 関数	4	52.0	58.1	60.7
D データの活用	4	44.5	52.8	55.5



令和6年度 大阪市立新生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

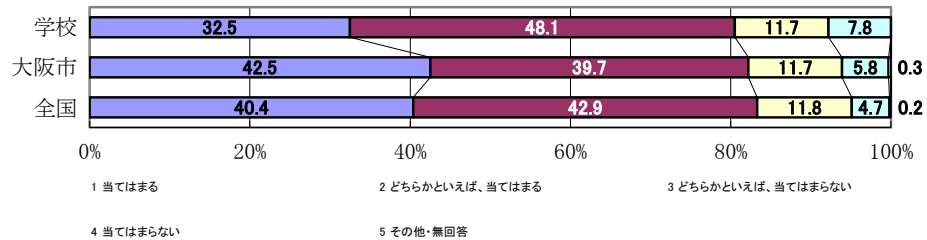
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

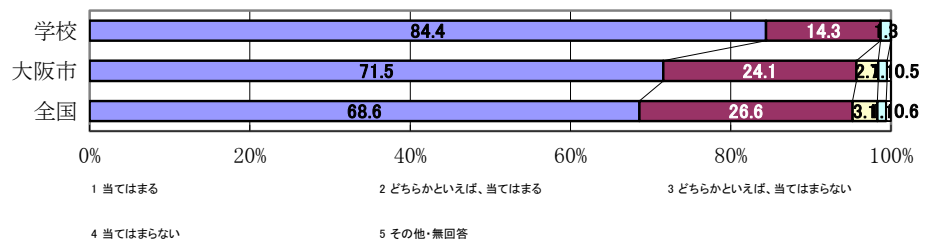
9

自分には、よいところがあると思いますか



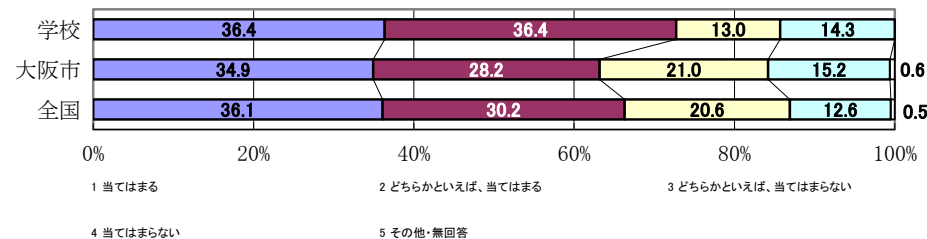
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



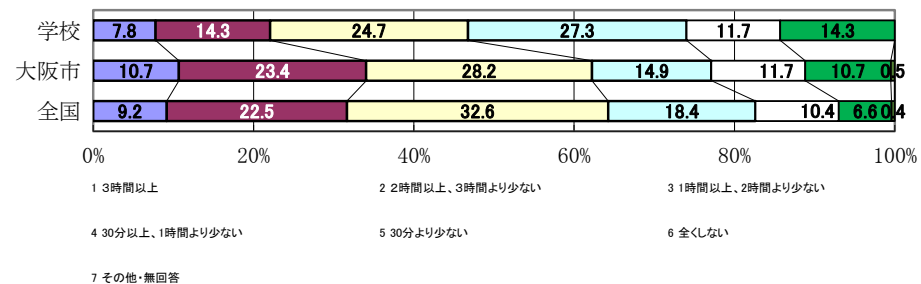
11

将来の夢や目標を持っていますか



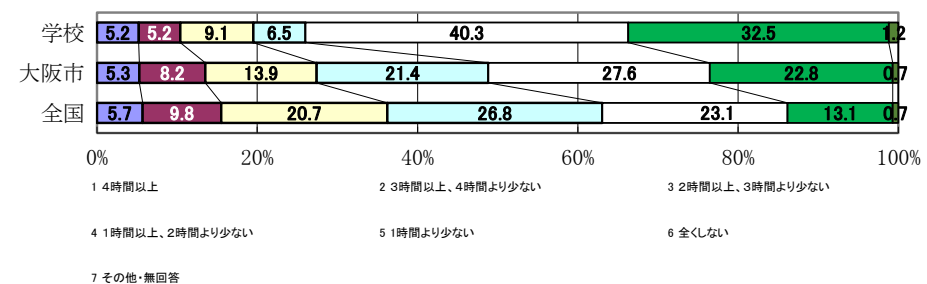
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



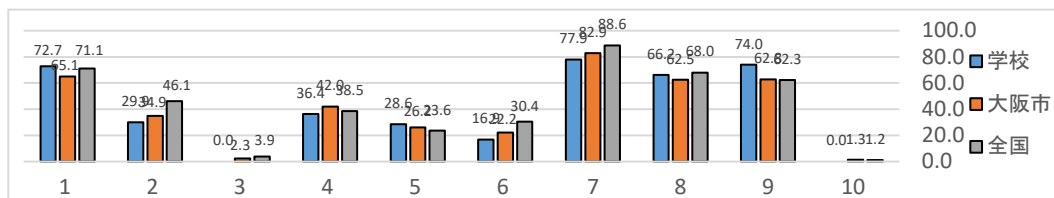
令和6年度 大阪市立新生野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より（26）

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何を
して過ごすことが多
いですか(複数選択)



1 学校の部活動に参加している

2 家で勉強や読書をしている

地域の活動に参加している(地域学
校協働本部や地域住民などによる
学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で
勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を
除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事
を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲーム
をしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1～9に当てはまるものがない

令和6年度 大阪市立新生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

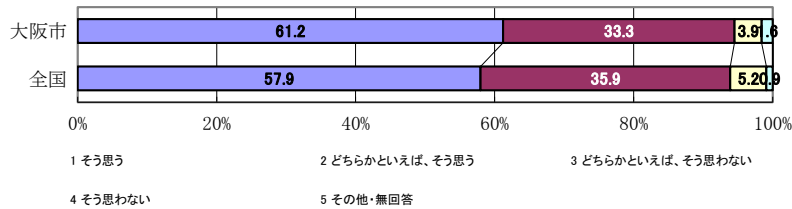
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

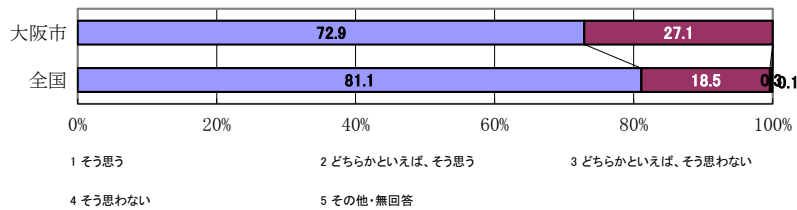
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



21

各生徒の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

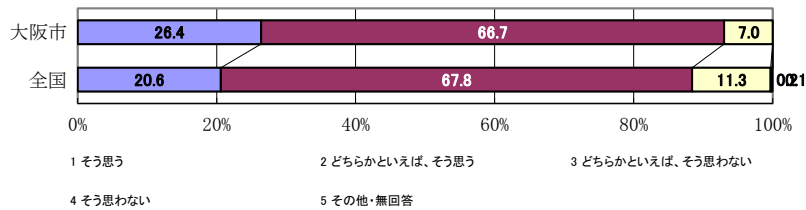
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

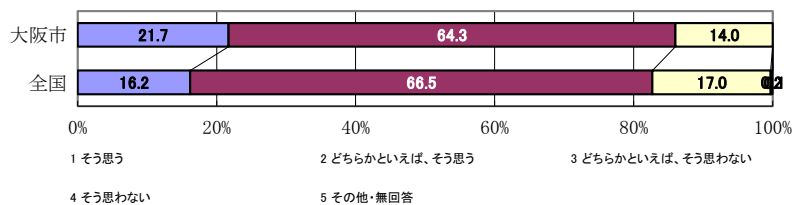
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



26

調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択

